

横浜能楽堂特別公演

# 三老女

チケット料金

セット券(全3回)・・・S席25,200円/A席22,200円/B席19,200円  
単独券・・・S席9,000円/A席8,000円/B席7,000円

チケット発売(初日は電話・Webのみ)

セット券・・・令和4年1月6日(木)正午から

単独券・・・第1回 令和4年1月8日(土)正午から

第2回 令和4年2月12日(土)正午から

第3回 令和4年3月12日(土)正午から

友の会先行発売

セット券・・・令和3年12月16日(木)～12月19日(日)

単独券・・・第1回 令和3年12月23日(木)～12月26日(日)

第2回 令和4年2月3日(木)～2月6日(日)

第3回 令和4年3月3日(木)～3月6日(日)

※セット券の販売枚数には限りがございます

お申込み・お問合せ・・・横浜能楽堂 〒22010044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2  
電話045-1263-3055 Web: <https://yokohama-nohgakudou.org>

主催・・・横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

第1回 令和4年4月9日(土) 午後2時開演(午後1時開場)

狂言 「財宝」 (和泉流) 野村万作

能 「姨捨」 (観世流) 梅若 実

第2回 令和4年5月7日(土) 午後2時開演(午後1時開場)

狂言 「萩大名」 (大藏流) 山本東次郎

能 「檜垣」 (蘭拍子) (観世流) 大槻文藏

第3回 令和4年6月18日(土) 午後2時開演(午後1時開場)

狂言 「富士松」 (和泉流) 野村 萬

能 「関寺小町」 (観世流) 観世鍔之丞



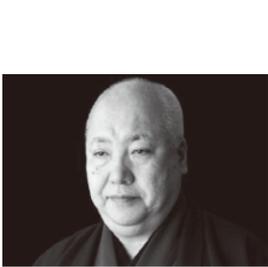
交通のご案内  
◇電車利用 /JR「桜木町」下車北改札・西口徒歩12分、市営地下鉄線「桜木町」下車南1出口徒歩12分、みなとみらい線「みなとみらい」下車徒歩20分、京浜急行線「日ノ出町」下車徒歩15分(タクシー利用は各駅共約5分)  
◇バス利用/戸部1丁目(市営バス103、292系統)下車徒歩5分/紅葉坂(市営バス8、26、58、101、105、106系統/神奈中バス横43、横44、港61系統/京急バス110系統)下車徒歩9分  
※駐輪場・駐車場はございません。ご来場の際は電車・バスをご利用下さい。※内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。※会場への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。※お問い合わせいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。※公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2  
<https://yokohama-nohgakudou.org> tel.045-263-3055 **横浜能楽堂** 🔍 検索

能において、「老い」を表現することは大事に扱われ

ており、「老女」が主役の能のうち「姨捨」「檜垣」「関寺小町」は通称「三老女」と呼ばれ、数ある能の中でも最高の秘曲とされています。演じるには、高度な技量と芸位が必要とされ、上演機会も限られています。

この「三老女」を連続して上演するシリーズ公演を開催します。狂言と併せて、当代を代表する演者による至芸をお楽しみください。



梅若実（うめわかみのる）

シテ方観世流。1948年五十五世梅若六郎の長男として生まれる。復曲や新曲能も多数手がけ、様々な分野の芸術家から注目を集める。1999年日本芸術院賞受賞。紫綬褒章受章。日本芸術院会員。重要無形文化財各個認定保持者（人間国宝）。



大槻文藏（おおつきぶんぞう）

シテ方観世流。1942年大槻秀夫の長男として生まれる。曲に対する深い理解と卓越した技術で数多くの舞台を勤め、多くの復曲も手掛ける。2017年日本芸術院賞受賞。紫綬褒章受章。文化功労者。重要無形文化財各個指定保持者（人間国宝）。



観世鏡之丞（かんぜてつのはよう）

シテ方観世流。1956年八世観世鏡之丞静雪の長男として生まれる。観世鏡之丞家当主。力強さと繊細さを兼ね備えた謡と演技に定評があり、国内外で活躍。2008年日本芸術院賞受賞。紫綬褒章受章。重要無形文化財総合認定保持者。公益財団法人能楽協会理事長。



野村万作（のむらまんさく）

狂言方和泉流。1931年六世野村万蔵の次男として生まれる。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える演技が特徴。1990年日本芸術院賞受賞。紫綬褒章受章。文化功労者。重要無形文化財各個認定保持者（人間国宝）。



山本東次郎（やまもととうじろう）

狂言方大蔵流。1937年三世山本東次郎の長男として生まれる。武家式楽の伝統を受け継ぐ品格ある芸風が特徴。2007年日本芸術院賞受賞。紫綬褒章受章。日本芸術院会員。重要無形文化財各個指定保持者（人間国宝）。



野村萬（のむらまん）

狂言方和泉流。1930年六世野村万蔵の長男として生まれる。世阿弥の唱えた「舞歌」と「物真似」を両立した品格のある演技に定評がある。1986年日本芸術院賞受賞。紫綬褒章受章。文化功労者。日本芸術院会員。文化勲章受章。重要無形文化財各個認定保持者（人間国宝）。

### 第1回

**令和4年4月9日（土）**

午後2時開演

能「姨捨」は、『大和物語』や『今昔物語』などで知られる「姨捨伝説」に取材した作品。中秋の名月を見に信州の姨捨山を訪れた男の前に、澄み渡る満月のもと白衣の老女の霊が現われ、月の美しさを讃え、仏法を説いて静かに舞います。山に捨てられたという悲劇性よりも、月の光と同化するかのような老女の清らかな世界観が印象的に表現されます。



能「姨捨」（観世流）梅若実撮影：吉越研

#### 狂言「財宝」（和泉流）

シテ（祖父）	野村 万作
アド（孫）	中村 修一
小アド（孫）	内藤 連
小アド（孫）	飯田 豪

笛	槻宅 聡
小鼓	大倉伶士郎
大鼓	柿原 孝則
太鼓	梶谷 英樹
後見	深田 博治

岡 聡史

#### 能「姨捨」（観世流）

シテ（里女・老女の霊）	梅若 実
ワキ（都人）	福王 和幸
ワキツレ（従者）	矢野 昌平
ワキツレ（従者）	喜多 雅人
アイ（所の者）	野村 萬斎

笛	松田 弘之
小鼓	大倉源次郎
大鼓	國川 純
太鼓	前川 光長
後見	角当 行雄
	松山 隆之

地謡	観世 喜正	山崎 正道
	角当 直隆	内藤 幸雄
	馬野 正基	永島 充
	坂 真太郎	川口 晃平

### 第2回

**令和4年5月7日（土）**

午後2時開演

能「檜垣」は、『後撰集』などに見られる檜垣の媼を題材とした一曲。若いころ美しい舞女として持て囃されたことが業となり、死後、地獄の業火が燃え立つ釣瓶で永遠に水を汲み続けるという苦しみを受ける白拍子の霊が現れ、老衰の姿で舞い、僧に救いを求めます。今回は、白拍子の舞の足遣いを表現する古式の演出である「蘭拍子」の小書が付きます。



能「檜垣 蘭拍子」（観世流）大槻文藏撮影：森口ミツレ

#### 狂言「萩大名」（大蔵流）

シテ（大名）	山本東次郎
アド（太郎冠者）	山本凜太郎
アド（庭主）	山本 則重
後見	若松 隆

#### 能「檜垣 蘭拍子」（観世流）

シテ（老女・檜垣女）	大槻 文藏
ワキ（山僧）	福王茂十郎
アイ（所の者）	山本泰太郎

笛	杉 市和	
小鼓	大倉源次郎	
大鼓	亀井 忠雄	
後見	観世 喜之	赤松 禎友
	武富 康之	

地謡	梅若 実	観世 喜正
	山崎 正道	鈴木 啓吾
	坂口 貴信	齊藤 信輔
	川口 晃平	大槻 裕一

### 第3回

**令和4年6月18日（土）**

午後2時開演

能「関寺小町」は、能「鸚鵡小町」「卒都婆小町」と同じく、才色兼備と謳われた歌人・小野小町の老衰説話を元にした作品。七夕の宵、百歳に及ぶ老いた小野小町が、若かり頃の華やかな生活をしのび、稚児の舞に興をおぼえて舞を舞います。老女の静かな日常を描いた本作は、現実の老女を演じる難しさなどから「三老女」のなかでも最高の秘曲とされています。



能「関寺小町」（観世流）観世鏡之丞撮影：前島吉裕

#### 狂言「富士松」（和泉流）

シテ（太郎冠者）	野村 萬
アド（主）	野村 万蔵
後見	野村万之丞

#### 能「関寺小町」（観世流）

シテ（小野小町）	観世鏡之丞
子方（稚児）	谷本 康介
ワキ（関寺住僧）	宝生 欣哉
ワキツレ（従僧）	則久 英志
ワキツレ（従僧）	御厨 誠吾
ワキツレ（従僧）	大日方 寛

笛	杉 市和	
小鼓	林 吉兵衛	
大鼓	柿原 弘和	
後見	観世 恭秀	片山九郎右衛門
	谷本 健吾	

地謡	浅井 文義	岡 久広
	味方 玄	浅見 慈一
	武田 友志	坂井 音雅
	観世 淳夫	小早川泰輝

※出演者・内容に変更がある場合がございます。